

12月5日 (木曜日)

(第 682 号)

令和元年 (2019 年)

全木連時報



木材産業シンボルマーク

発行所

一般社団法人全国木材組合連合会

所在地 東京都千代田区永田町 2-4-3

☎ 03(3580)3215

URL <http://www.zenmoku.jp>

第五十四回全国木材産業振興大会

高知大会開催



主催者挨拶 鈴木和雄全木連会長

全国から六〇〇名が参加
都市の木造化推進へ
宣言決議を採択

”次世代へつなぐウッド
ファースト社会を目指して”をメ
インテーマに掲げた第五十四
回全国木材産業振興大会が、
十一月六日(水)高知市の「高
知市文化プラザかるぼーと」
において全国から六〇〇余名
が参加し開催された。

第一部は、国歌斉唱の後、
松田功德島県木協会長の開会



挨拶する鈴木全木連会長

の言葉、台風等被災者やこの
一年間の物故者に対する黙と
うと続き、小川康夫全木連四
国支部長・高知県木協会長か
ら歓迎の挨拶が行われた。続
いて鈴木和雄全木連会長によ
る主催者挨拶、来賓として出
席された太田豊彦林野庁次長
(江藤拓農林水産大臣代理)、
遠山明国交省住宅局住宅生産
課木造住宅振興室長(赤羽一
嘉国土交通大臣代理)、中谷元
衆議院議員、岩城孝章高知県



歓迎の挨拶 小川全木連四国支部長

第二部は、高知県立高知城歴史博物館長の渡部淳氏による「土佐と材木」〜土佐藩の財政と林業〜と題した記念講演が行われた。文人紀貫之の最終官職が木工権頭で木材調達に携わっていたこと、土佐材が

副知事（尾崎正直高知県知事代理）、岡崎誠也高知市長が祝辞を述べられた。参列された来賓の紹介、祝電の披露、ビデオを使用した尾崎徳七高知県青年林材協会長の現地報告に続き、菊池正愛媛県木協会長が大会宣言（別掲）を朗読し、満場一致で決議した後、鈴木全木連会長による決意表明が行われた。



来賓祝辞 太田林野庁次長

楠木正成の時代以降重宝され藩の財政を支えて来たこと、江戸城にも土佐材が多く使われていること、名古屋市立売堀の「白髪橋」が土佐の白髪山産出の松に由来するなど、興味深い内容に会員や一般聴衆は熱心に聞き入っていた。



表彰式挨拶 松原全木協連会長

第三部の表彰式は、松原正和全木協連会長の挨拶、太田豊彦林野庁次長（本郷浩二林野庁長官代理）の祝辞の後、退任団体長表彰、木材産業功勞者表彰、協同組合事業功績者表彰が行われ、井関和彦前全木協連副会長が受賞者を代表して謝辞を述べた。

次いで、次期開催地の鹿児島県のDVDが放映されるとともに、柴立鉄彦鹿児島県林材協連会長から挨拶（令和二年十一月十二日、鹿児島市開催）が行われ、最後に樋口浩良香川県木協連会長が閉会の言葉を述べて、盛会のうちに終了した。

この後、ホテル日航高知旭ロイヤルにおいて、中谷衆議院議員、尾崎県知事をはじめ多数のご来賓のご出席の下、地元の踊りなど賑やかな懇親会が盛大に開催された。

受賞をお喜び申し上げます

令和元年秋勲章・褒章受章者（敬称略）

黄瑞旭旭旭旭
綬 宝日日日日
褒 小双双小小中
章 綬光光綬綬綬
章 章章章章章章

竹松藤西嶺杉岡柴
内尾原崎木 本立
德 恭 公昌修信鉄
將 伸敬朗行治和彦
(鹿児島)
(兵庫) (東山) (岡山) (岡山)
(広島) (京山) (愛知) (岡山)

第54回全国木材産業振興大会

“次世代へつなぐウッドファースト社会を目指して”

宣言決議

木材利用の拡大は、森林・林業の活性化のみならず地球温暖化防止、地方創生、国土強靱化などを通じ、豊かな暮らしや低炭素社会の実現に大きく貢献するものであり、森林資源が充実しつつある中、「伐って、使って、植えて、育てる」という資源の循環利用の確立が重要である。全国各地で木造施設等が数多く建設されるようになり、都市部の建築物の木造化・木質化が大きく進み始めようとしている。これは木材を優先して活用する‘ウッドファースト社会’の実現に向けて、政府、与党、経済界に訴えてきた我々の活動の成果と認識している。

今後とも、戦後続いてきた木材から非木材への流れを変え、木材の復権を確実なものにするため、安全・安心な木材の安定供給体制の構築とともに、都市の木造化・木質化など国民を挙げた木材利用拡大への動きの加速化や山元に利益を還元するための仕組み作りに木材産業界自らが率先して取り組み、消費者・ユーザーの協力を得ていくことが重要である。

そのため、次の事項について、経済界など多様な関係者の連携の下に英知を結集して行動する。

1. 都市部などでの木材利用の大幅な拡大のため、法律・制度の見直し等抜本的対策の実現に取り組む。
2. 森林資源の循環利用を実現するため、森林環境譲与税等も活用し、山元に利益を還元できる体制の構築に森林・林業団体と一体となって取り組む。
3. 木材産業振興のため、予算の確保、税制措置の継続に取り組む。
4. 新たな木材需要を創出するため、技術開発・普及等に取り組む。
5. 合法伐採木材、JAS製品等、品質・性能の確かな木材供給や人材の育成確保に取り組む。

以上、決議する。

令和元年 11月6日
第54回全国木材産業振興大会



来賓祝辞 岩城高知県副知事



来賓祝辞 中谷衆議院議員



来賓祝辞 遠山国交省木造住宅振興室長



大会宣言 菊池県木協会長



現地報告 尾崎高知県青林協会長



来賓祝辞 岡崎高知市長



全木協連退任団体長表彰 阿部、坂東、中村、井関氏



記念講演 渡部高知城歴史博物館長



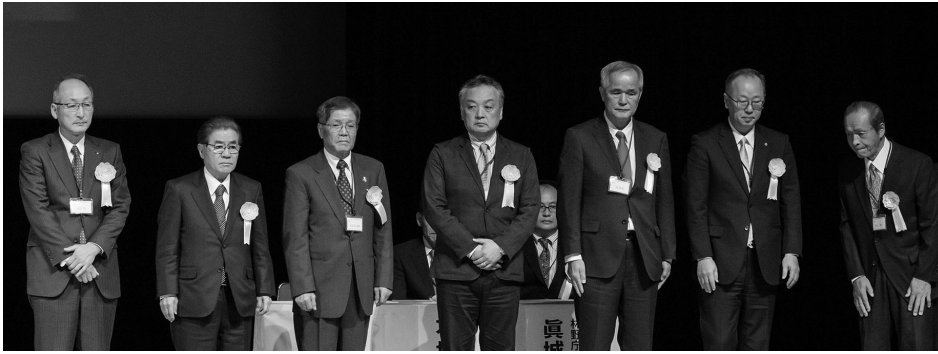
林野庁長官感謝状 全木連の皆様



全木連退任団体長表彰 阿部、坂東、井関氏

第11回
新たな「木材利用」事例発表会
 日時…令和2年2月13日(木)
 13:30～16:30
 場所…木材会館7階ホール
 (江東区新木場11-18-8)
 主催…(一社)全国木材組合連合会
 木材利用推進中央協議会
 定員…150名
 (一般消費者、建築・設計、
 木材関係者等)

第55回全国木材
産業振興大会
(鹿児島大会)
 期日…令和2年11月12日(木)
 場所…大会
 鹿児島市民文化ホール
 (第2ホール)
 懇親会
 鹿児島サンロイヤルホテル
 (2階大ホール)
 講演…鹿児島(鶴丸)城御楼門の
 建設について(予定)
 *11月13日(金)オプシヨナルツ
 アー(指宿、霧島、屋久島 3コー
 ス予定)
 ☆木材利用促進のため、
 大勢の参加で大会を
 盛り上げよう!



林野庁長官感謝状 全木協連の皆様



全木連会長表彰 代表 長瀬徳島県木協連理事



受賞者代表謝辞 井関前全木協連副会長



受賞者の皆様



全木協連会長表彰 代表 川北香川県木産協理事



小川会長の開宴挨拶に聞き入る会場



閉会の言葉 樋口香川県木協会長



次期開催地挨拶 柴立鹿児島県林協連会長



中締め 伊藤訓新高知県木協副会長



乾杯 桑名龍吾高知県議会議長



来賓挨拶 尾崎正直高知県知事



司会 井津葉子さん



よさこいで盛り上がる会場

前大会以降退任団長
感謝状名簿
(敬称略)

全木連会長感謝状

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 大愛岡鳥大原埼栃茨山宮 | 全木協連会長感謝状 | 銘大愛鳥埼栃茨山宮 |
| 分媛山取阪木玉木城形城 | | 木分媛取玉木城形城 |
| 内井岡清中幸坂林生阿佐 | | 旗内井清水坂東正一郎 |
| 田関本水村田東正一郎 | | 政田関和彦 |
| 幹和信秀暢雄一 | | 廣雄彦 |
| 雄彦 | | |

林野庁長官感謝状

木材産業功労表彰者名簿

- | | | | |
|-----------|------|----------|--------------|
| 群馬栃山岩 | 北海道 | 全木連会長表彰状 | 宮愛広京愛静岐福石富埼宮 |
| 馬木形手 | | | 崎媛島都知岡阜井川山玉城 |
| 橋永福大本小関小 | 小玉一博 | | 木脇菊地敦雄 |
| 本井田隅宮林拓孝和 | | | 章太郎清 |
| 博芳郎男行久仁彦夫 | | | |

- | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---------------------------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 岡和歌 | 兵庫 | 大京三 | 愛知 | 静岡 | 岐阜 | 長野 | 富山 | 東京 | 千葉 |
| 山山 | | 阪都重 | | | | | | | |
| 板古宮森松福中森石松兼久中落長竹神長北梅林中山宮田江阿角 | 坂賀田谷田嶋村下岡峯田我田合谷川内谷幸一弘司澄郎広藏治信男則明 | | | | | | | | |

- | | | |
|-------------|----------|------|
| 熊高広岡岐長富原間山 | 林野庁長官感謝状 | 山形阿部 |
| 本知島山阜野山木屋 | | 細田梯 |
| 原秋柳堀長大米一條達雄 | | 昭 |
| 田山順和敬邦良 | | |
| 実一英司 | | |

協同組合事業
功績表彰者表彰名簿

- | | | |
|-----------------------------|-----------|---|
| 高香徳広三愛静岐福富木場製材原新東京材問埼山北海道 | 全木協連会長表彰状 | |
| 知川島島重知岡阜井山 | | |
| 北川高伊中大大中野小田卷綴長福桑喜長谷川内田鎗河飯遠西 | | 根 |
| 岡北島原本萱野野野通正憲 | | 陽 |
| 幸豐早祐祐宗優修 | | 陽 |
| 一浩苗治昌靖子 | | 陽 |



全木連は、国産材を活用し日本の森林を守る運動に取り組んでいます。
<http://www.kokusanzaikatuyo.jp/>

森林を活かす都市の
木造化推進協議会の動き

議員連盟との現地視察(山形)

九月二十七日(金)、森林を活かす都市の木造化推進議員連盟の現地調査に同行し、(株)シエルター本社(山形市・平成十年グッドデザイン賞受賞)、同プレカット工場(寒河江市・3D加工機、三時間耐火部材)、白鷹町役場庁舎(公民館、図書館等複合施設、地元スギ無垢材主体の木造二階建、約一七〇〇㎡を活用)、南



意見交換会で挨拶する鈴木協議会副会長

陽市文化会館(平成二十七年世界最大の木造コンサートホールとしてギネス世界記録認定)を視察。さらに、山形県庁、県木協、地元森林組合との意見交換会にも参加した。



議員を囲んで

議連出席議員: 吉野正芳会長(衆)、金子恭之幹事長(衆)、小島敏文事務局長(衆)、鈴木憲和事務局長(衆)、滝波宏文事務局長(参)

台風19号等で被災された皆様へのお知らせ

台風19号等により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
(独)農林漁業信用基金では、災害復旧を支援する「林業・木材産業災害復旧対策保証」を平成31年4月から始めています。

- ・ 災害復旧保証は、通常の保証限度額とは別枠で8,000万円まで保証します。
- ・ また、保証料が最大5年間免除されます。

対象とする災害: 林野庁長官の指定する令和元年8月から9月の前線に伴う大雨(台風第10号、第13号、第15号及び第17号の暴風雨を含む。)及び台風第19号の暴風雨による災害(令和元年11月11日現在)
詳しくは、当基金または取引先の銀行、信用金庫、信用組合などの金融機関へ



林業・木材産業信用保証

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号
TEL:03(3294)5585、558 6 FAX:03(3294)5595
災害復旧保証の詳細はこちら(URLまたはQRコード)をご覧ください
URL:http://jaffic.go.jp/whats_kikin/guide/rin/rin-saigaihoshho.pdf





岸田文雄自民党政調会長の挨拶

議連へ都市木造化の要望
十月二十三日（水）、議員連盟の第四回総会に出席し、「都市での木材利用拡大に向けた抜本的対策の実現に関する要望書」を提出した。都市の木造化を国の最重要課題として位置付け、木材利用促進に向けた法律・制度の見直し、予算の確保、推進体制の構築について議員連盟に対し強く要請した。また、議連に入会されている岸田文雄自民党政調会長から議連・協議会の活動に大いに期待する旨の力強いご挨拶をいただいた。その後、議連・協議会合同パーティーを開催し、議員、会員など大勢の参加者のもと盛大に行われた。

自由民主党

もりを活かす都市の木造化推進議員連盟

会長 吉野 正芳 殿

会員 先生 各位

都市での木材利用拡大に向けた 抜本的対策の実現に関する要望書

日々深刻化する地球温暖化への対応が一刻の猶予も許されないという状況の中、脱炭素社会を実現すべきという時代の求めに応じ、都市の木造化を大きく加速していくための枠組みの構築は時代に求められている政策である。

しかしながら、戦後日本では、荒廃した森林を守り、災害に強く燃えない都市を造るという目的から、木材を使わない都市づくりが国を挙げて行われ、「都市では木材は使えない」という考え方が浸透した。

今、時代は大きく変わり、日本の国土の大部分を占める森林の健全な維持には資源の適切な活用が必要という状況が生まれるとともに、災害に強く・燃えない木造中高層建築物を可能とする木質耐火部材の開発などの技術革新が急速に進んでいる。こうした中、地球温暖化、地方創生、国土強靱化等の国家的な課題に対する森林の役割に対する期待も大きくなってきており、都市の木造化が行政のみならず建築業界を始め、経済界や NGO 等においても注目・見直されつつある。

しかしながら、戦後長きにわたって定着してきた「都市では木材は使えない」という考え方を変え都市の木造化を大きく進めていくには、これまでの社会の流れを変える大きなインパクトが必要となっており、先般設立された「もりを活かす都市の木造化推進議員連盟」には、イノベーションの推進により、都市での木材利用の促進と持続的な森林資源の利用の実現に向け、国を挙げた取り組みの構築をリードしていくことが期待されている。

2020年は東京オリンピック・パラリンピックを契機として東京・日本が世界中からの注目を集める年である。そうした中、人類共通の課題である地球温暖化防止に対し都市の木造化・木質化の推進を通じて貢献していく姿勢を強く打ち出しリードしていくことは、木の文化の国と言われた先進国日本の使命であり、世界に対して日本のプレゼンスを高めていく絶好の機会である。

こうした認識の下、我々は「もりを活かす都市の木造化推進議員連盟」に対して下記の事項の実現を強く要望する。

記

日本の森林を守り、地球温暖化防止、地方創生、国土強靱化等の国家的課題に対応するため、都市の木造化を国の最重要課題の一つとして位置づけるとともに、民間の建築物を含めた木材利用の促進に向けた法律・制度の見直し、必要な予算の確保、国・地方公共団体・国民を挙げた推進体制の構築に取り組むこと。

令和元年10月23日
もりを活かす都市の木造化推進協議会
会長 前田直登

今年度から「国土交通大臣賞」及び「環境大臣賞」を創設

〔木材利用優良施設コンクール表彰〕

木材利用推進中央協議会は木材の需要拡大のため、平成5年から「木材利用優良施設コンクール」を開催し、優良な木造化・木質化施設を表彰してきたが、木材の素晴らしさや最新の木材利用技術を、より多くの方々を知っていただくため、昨年度の「内閣総大臣賞」に続いて、今年度新たに「国土交通大臣賞」、「環境大臣賞」を創設した。

地域材を利用した部材を駆使し、木材のぬくもりを活かすなど、素晴らしい作品の応募が多数あり、令和元年11月1日に木材会館（東京都江東区）において表彰式が盛大に開催された。受賞施設は下記のとおり。



表彰式（内閣総理大臣賞）

受賞施設

〔内閣総理大臣賞（1点）〕

○屋久島町庁舎

（鹿児島県屋久島町）



〔農林水産大臣賞（1点）〕

○兵庫県林業会館

（兵庫県神戸市）



〔国土交通大臣賞（1点）〕

○おりづるタワー屋上展望台

「ひろしまの丘」（広島県広島市）



〔環境大臣賞（1点）〕

○香南市総合子育て支援センター

「にこなん」（高知県香南市）



〔林野庁長官賞（3点）〕

○日向市役所

（宮崎県日向市）



○道の駅ふたつ

（秋田県能代市）



○PARK WOOD高森

（宮城県仙台市）



〔木材利用推進中央協議会会長賞（4点）〕

○みやこ下地島空港ターミナル

（沖縄県宮古島市）

○天草市庁舎（熊本県天草市）

○北川村小規模多機能施設

「ゆずの花」（高知県北川村）

○alicede JINGUMAE

（アレーテ神宮前）（東京都渋谷区）

〔審査委員会特別賞（2点）〕

○糸魚川市駅北復興住宅

（新潟県糸魚川市）

○多賀町中央公民館

「多賀結いの森」（滋賀県多賀町）